

給料 市長給与・市議会議員報酬をアップする条例改正案に反対

国の人事院勧告に従って、市長・副市長などの特別職にあたる役職の給与、また議員報酬をアップする条例改正案が市側より提案されかけました。
 しかし、大和市の現在の財政は大変厳しい状況であることに変わりありません。
 我々自民党・新政クラブとしてはこのような財政状況下で**市長の給与や市議会議員の報酬をアップすることは、市民の理解を得ることは到底難しいという判断**をし、この条例改正案が本会議で上程される前に**反対を表明**したところ、可決成立の見込みがないことから**市長よりこの条例改正案が取り下げられること**となりました。

ポイント 人事院勧告とは？

人事院勧告とは、公務員の給与・手当の在り方を示す人事院の年1回の提言です。民間賃金や物価を踏まえ、職員の生活や人材確保の観点から基準になります。法的拘束力はありませんが、政府や地方自治体の職員の処遇を決める際の重要な参考になります。

身近な活動

上和田地区と福田地区・渋谷地区・代官地区の一部を受け持っている大和市消防団第11分団に所属し、活動をしています。
 建物火災や台風などの災害時には消火活動、救助活動、警戒監視活動などを行います。
 また、日頃からの火災予防啓発活動や年末には歳末火災特別警戒活動なども行い、市民の生命・身体・財産を守る活動を行っています。
 消防団員も18歳以上の市内在住・在勤で健康な方でしたらどなたでも参加できますので、是非とも消防団に入団して一緒に活動しませんか？



県消防学校での実務講習の様子

町田ひろふみの12月・3月議会での一般質問の動画をご覧いただくことができます。



プロフィール | Profile



- 昭和57年12月17日 O型
- ◆上和田保育園卒園
- ◆大和市立上和田小学校卒業（大和卓球団所属）
- ◆大和市立上和田中学校卒業（卓球部）
- ◆県立大和高等学校卒業
- ◆早稲田大学政治経済学部政治学科卒業
- ◆民間企業と社会福祉法人を経て、元衆議院議員（甘利明）私設秘書
- ◆元衆議院議員（甘利明）公設第一秘書
- ◆元参議院議員（島村大）公設第二秘書

- ### 【議会役職】
- ◆文教市民経済常任委員会委員（令和5年度）
 - ◆環境建設常任委員会委員（令和6年度）
 - ◆厚生常任委員会委員（令和7年度）
 - ◆総務常任委員会委員（令和8年度）
 - ◆基地政策特別委員会副委員長（令和8年度）
 - ◆広報委員会副委員長（令和6年度・8年度）
 - ◆議会改革実行委員会委員
 - ◆国民健康保険運営協議会委員

- かながわ自民党政治大学校第12期修了
- 自民党大和市連合支部事務局長
- 大和市消防団第11分団所属
- 早稲田大学 大和稲門会副幹事長

大和市議会議員 町田ひろふみ 事務所 <https://machida-hirofumi.com/>
 〒242-0014 大和市上和田 2412 番地 上和田団地 4-3-108 TEL : 080-3480-0235



夢と希望あふれる大和市に「未来への責任！」

大和市議会議員

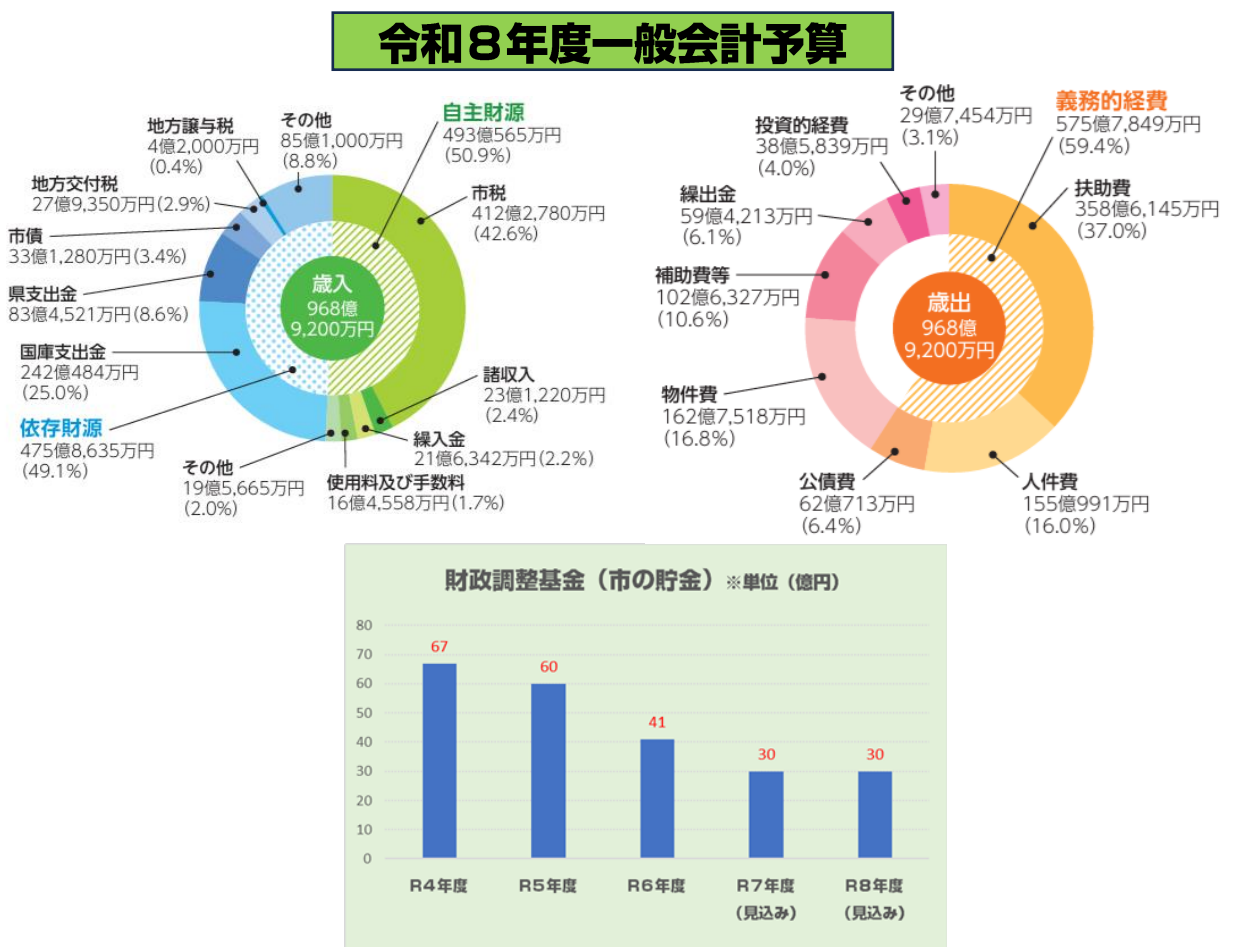
町田ひろふみ

レポートV o l . 5

議会で行われた一般質問と市政情報を一部編集し、市政報告として皆様にお届けいたします。

令和7年と令和8年3月定例会までに行われた大和市議会での一般質問と議会での出来事をご報告いたします。令和8年度予算も昨年に引き続き大変厳しい行財政運営が強いられます。市の財政に危機感を持ち、適切な財政運営を行うことを市長へ問いました。

一般会計968億9,200万円規模の令和8年度予算案に賛成



【令和8年度予算案に賛成し、可決成立】

令和6年度決算では経常収支比率が101.5%（歳入<歳出）であったことが発覚し、財政の立て直しが喫緊の課題となりました。その主な要因としては**シリウス・ポラリスなどの公共施設の維持管理の指定管理料約11億円が毎年の固定費**として掛かることが挙げられます。我々は令和7年度予算案の審議の際には無駄と思われる予算が多く含まれていたため、当初予算案に反対し、修正予算案に賛成をいたしました。

この度の令和8年度予算案は市側においても厳しい財政状況である現実を受け止められており、必要性の薄い事業への歳出をカットするなどして、**市の貯金である財政調整基金の流出に歯止めがかけられているため、賛成をいたしました。**

歳出を抑制することができても、歳入を増やしていかなければ財政が好転したとは言えないため、**今後は歳入を増やすために尽力してまいります。**



はしか対策と予防接種の啓発を！

質問

今、はしかが世界的に大流行し始めている。国内の全国の感染者数2023年は28例、2024年は45例だったのが、2025年は245例と跳ね上がっている。今年も2月12日時点では既に27例が公表されている。(5月14日現在462例) はしかは過去にかかった感染症やワクチンの免疫を破壊する「免疫健忘(イミュン・アンネージア)」を引き起こし、免疫が白紙化される恐ろしい病気と言われている。また、日本国内で最も感染リスクが高いのは、ワクチン接種が1回のみだった1972～1990年生まれの「空白世代」とも言われている。ワクチンの接種率向上には何か取り組まれるのか？

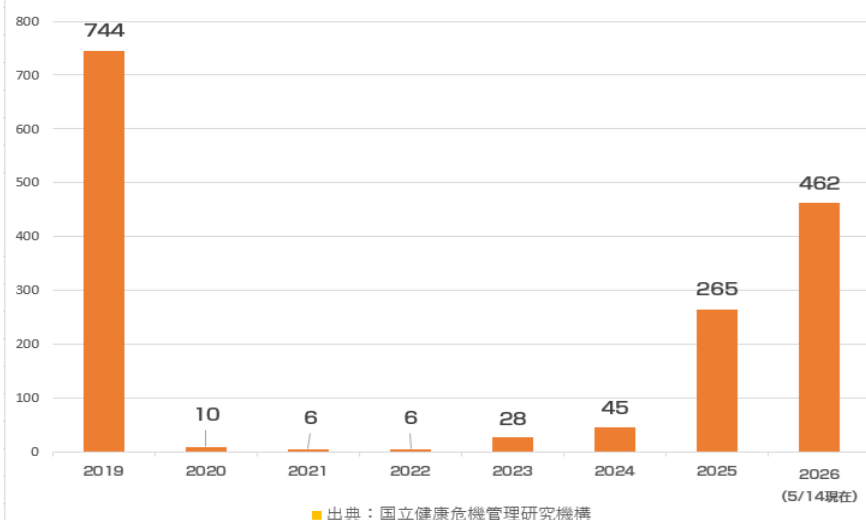
答弁

MRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)の費用の一部助成を行っている。今年度対象の接種見込者数は3,768名を見込んでいる。ワクチンの接種率向上に向けて啓発を行っている。

要望

世界的に爆発的な流行を見せており、日本も感染者数が増えることは目に見えている。はしかは感染を抑えるにはワクチンが非常に効果的と言われている。集団免疫の達成には接種率95%以上と言われている。厚労省も注意喚起を行っているので積極的にワクチン接種の啓発を行ってほしい。

日本国内の麻疹感染者数推移



麻疹ワクチンの接種歴

53歳以上	1972年9月30日 以前の生まれ	接種なし
36歳～53歳	1972年10月1日～ 1990年4月1日生まれ	1回接種
36歳以下	1990年4月2日 以後の生まれ	2回接種

※35歳～53歳の世代の方々が『空白世代』と言われている。



災害に備えた市役所庁舎の老朽化対策は？

質問

市役所本庁舎は、昭和49年(1974年)3月に建設され、既に52年も経過している。市役所の竣工当時は大和市の人口は約14万人、職員372名を想定していたが、現在では人口は24万4千人を超え、高座渋谷や中央林間の分室など機能の分散は図られており、それにつれて職員数も大幅に増加している。

しかし、人口も職員数も増えているのに、市庁舎の物理的なスペースは50年前のままで50年が経過し、建物も老朽化しており、仮に災害があった際には機能を維持できるのか懸念される。市庁舎の耐用年数はどの程度で、将来的な建て替えについてはどのように考えているのか？

答弁

本市が現庁舎を整備してから半世紀余りが経過する中で老朽化対策などの面からも課題を抱えており、将来的には市民の皆様への御理解をいただいた上で、市庁舎を更新していくことは避けられないものと認識している。

しかし、公共施設保全計画において適切に管理してきたことにより長寿命化が図れるものとして、耐用年数を60年に設定しており、今後も引き続き改修工事を計画的に実施することにより、さらに延命化が図られるよう目指していく。

要望

建物の延命化を進めるとはいえども、結局老朽化するには変わりはない。建て替えに関しては、例えばマンションの維持管理費などと同じように生活の知恵から当然基金を積み立てているものだと思われる市民も多くおられる。

まだ庁舎は使えるのだから将来の市長の責任において建設すればいいと考えるのではなく、今この時の市政を預かる市長の責任において庁舎の今後を真剣に考えていただくことを要望する。



大和市内の宇宙関連ベンチャー企業を訪問し、小型SAR衛星の製造現場を視察しました。

令和7年6月議会での一般質問にて宇宙関連産業について取り上げたところ、令和8年度の市長の施政方針の中に初めて宇宙産業の振興について取り入れられることとなりました。

宇宙関連産業の世界市場は現在約45兆円ですが、2040年には140兆円規模まで成長するとされています。その宇宙関連企業がJAXAの近い大和市内に製造工場を構えたため、小型SAR衛星の製造現場を視察させていただきました。

